

# 第33号

発行：公益社団法人  
福島県森林・林業・緑化協会  
〒960-8043  
福島市中町5番18号  
(福島県林業会館内)  
TEL 024-521-3270  
FAX 024-521-3246  
平成31年2月発行

# ふくしま 林業 労働力確保支援 センターだより



ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.



森林・林業担い手育成事業【高校生体験学習】



FL 集合研修【森林調査・測量】



森林作業道作設研修【上級研修】



林業就業支援講習【実地研修】

## 目次

平成30年度「緑の雇用」集合研修の実施……………	2	「森林（もり）の仕事ガイドンス2019」に参加……………	14
林業就業支援講習（12日間）を開催……………	5	各種イベントへの林業就業相談ブースの出展……………	15
森林作業道作設研修会を開催……………	8	「改善措置実施状況報告書」って何ですか？ ……	16
森林・林業担い手育成事業の実施……………	10	平成31年認定林業事業体現場作業員採用計画……………	18
就労者のキャリア形成に向けての取り組み……………	12	福島県認定林業事業体一覧表（流域別）……………	19
トピックス「2018森林・林業・環境機械展示実演会」……………	13	福島県認定林業事業体位置図（流域別）……………	20

# 平成30年度「緑の雇用」集合研修の実施

「緑の雇用」事業は、国（農林水産省）の助成事業で、改善計画の認定を受けた林業事業者（森林組合や民間の造林会社、素材生産会社等）に採用された人に対し、講習や研修によりキャリアアップを支援する制度です。

今年度、当センターでは林業作業士（フォレストワーカー）研修及び現場管理責任者（フォレストリーダー）研修を実施しました。

## 林業作業士（フォレストワーカー）集合研修

新しく林業の仕事を始めた方を対象に行うもので、OJT研修や集合研修を通じて、基本姿勢や基礎力を習得し、一人前の現場技能者になる能力を身につけるための研修です。

### 1年目研修【林業作業の基本】

今年度のフォレストワーカー（以下、FW）1年目の研修は、6月1日から11月22日（補講を除く）までの期間で実施しました。研修生が既に取得している資格等によって違いはあるものの、研修日数は最長で27日間に及びました。1年目の研修は、林業作業の基本となる内容を中心に、講義・実習を行いました。

当初39名だった研修生は、修了時には33名まで減ってしまいましたが、雨の中、風の中、蒸し暑く過酷な真夏の猛暑の中、そして秋の寒さの中でも、連日研修に励んでいました。

#### ◎研修中に取得する安全講習等

- ・刈払機取扱作業者
- ・伐木等の業務（チェーンソー作業）
- ・玉掛け技能講習
- ・網猟わな猟
- ・小型移動式クレーン技能講習



開講式に集まった研修生 計39名



初めての現場研修は造林作業、雨のスタートでした



森林調査（コンパス測量）の実習



育林作業（下刈）の実習



チェーンソーによる伐倒作業の実習



最終日、室内研修の様子

### 2年目研修【1年目の内容の確認・応用】

今年度のFW 2年目の研修は、6月15日から11月28日（補講を除く）までの期間で実施しました。取得済みの資格等によって違いはあるものの、研修日数は最長で25日間に及びました。

2年目の研修は、主に1年目に行った内容のフォローアップを行うもので、造林や育林、チェーンソーによる伐倒・造材・集材作業の応用、また、かかり木等処理の研修などを行いました。

#### ◎研修中に取得する安全講習等

- ・走行集材機械特別教育
- ・機械集材装置運転業務
- ・車両系建設機械運転業務
- ・不整地運搬車運転業務
- ・荷役運搬機械等によるはい作業従事者



チェーンソーのメンテナンス研修



育林作業（下刈）の実習



チェーンソーによる伐倒・造材・集材研修



はい作業従事者安全講習



かかり木等処理作業の実習



最終日の座学 グループ討議・発表の様子

### 3年目研修【基礎力の向上・大型機械を使用した林業作業】

FW 3年目の研修は、7月4日から11月29日（補講を除く）までの期間で実施しました。取得済みの資格等により違いはあるものの、研修日数は最長で20日間に及びました。

3年目の研修は、1年目・2年目で学んだ林業作業の基本力の向上を目指す内容で、高性能林業機械による作業実習やメンテナンス実習、森林作業道作設の研修や木材市場・加工施設の見学等を行いました。

#### ◎研修中に取得する安全講習等

- ・ 伐木等機械の運転業務
- ・ 簡易架線集材装置の運転業務



高性能林業機械の研修、グループ討議



スイングヤードの策張り作業実習



フォワーダによる集材作業実習



プロセッサによる造材作業実習



ベースマシンのメンテナンス実習



アタッチメントのメンテナンス実習



木材市場の見学



木材加工（集成材）施設の見学



森林作業道作設研修

## 現場管理責任者（フォレストリーダー）集合研修

作業班長候補者など経験を積み職務力がついてきた方を対象に行うもので、判断力・指導力向上、現場作業管理などを学び、現場での管理・責任を担える能力を身につけるための研修です。

### フォレストリーダー（FL）研修

フォレストリーダー（以下、FL）研修は、10月26日から12月19日までの期間で実施しました。取得済みの資格等により違いはあるものの、研修日数は最長で16日間に及びました。

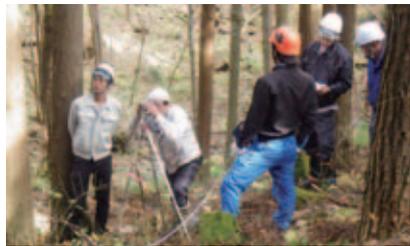
FL研修は、林業の就業経験が5年以上の方を対象に行われるため、林業に対する基本的知識・技能を習得していることを前提に、研修内容はFW研修の内容の復習・高度化が主体となっています。

#### ◎研修中に取得する安全講習等

- ・造林作業の作業指揮者
- ・はい作業主任者
- ・地山の掘削及び土止め支保工作業主任者



森林調査、室内研修の様子



収穫調査の実践研修



現場作業管理の室内研修



高性能林業機械による造材・集材 グループ討議



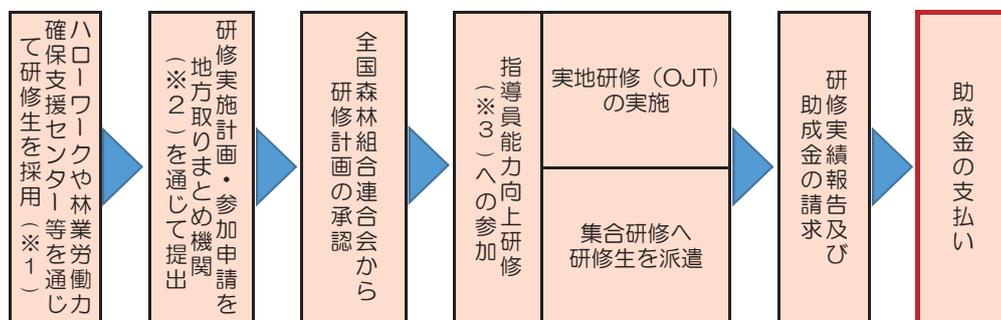
生産性の向上のための作業システム研修



閉講式の様子

## 申請から支給までの流れ（全国森林組合連合会「緑の雇用」事業リーフレットより）

認定事業体の皆様は「緑の雇用」事業を活用するためには、下図のようなフローにより取扱機関に申請を提出しなければなりません。具体的な研修受講の手続きは、本県では、福島県森林組合連合会、磐城林業協同組合、福島県林業労働力確保支援センターが行っています。



- ※1 トライアル雇用と林業作業士（FW）研修（1年目）（トライアル雇用から引き続きの場合を除く）のみ
- ※2 本県では福島県林業労働力確保支援センター、福島県森林組合連合会、磐城林業協同組合があります。
- ※3 本県では福島県林業労働力確保支援センターが行っています。

●●●指導員について●●●

実地研修(OJT)を統括的に管理・指導するため、各事業体で指導員を選任の上、研修指導を行います。

指導員の資格 ①または②に該当する者

- ①FL研修もしくはFM(フォレストマネージャー)研修の修了者
- ②以下のa～cすべてを満たす者
  - a 伐木等の業務に係る特別教育及び刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育の修了者
  - b 林業就業経験が通算3年以上の者
  - c 指導員能力向上研修の修了者

# 林業就業支援講習(12日間)を開催

林業就業を目指す方々を対象にした林業就業支援講習を、平成31年1月17日(木)から2月1日(金)までの土日を除く12日間の日程で開催しました。

この講習は、厚生労働省委託事業として全国森林組合連合会の委託を受けて各都道府県にて実施するもので、新たに林業への就業を希望する方(原則45歳未満の方)を対象に、森林や林業に関する基本的な知識等の講義や刈払機・チェーンソー・小型車両系建設機械(3t未満)の資格取得、林業事業者での林業作業実地講習、木材市場・木材加工施設の見学等のカリキュラムを行いました。

今年度受講された方は男性3名で、福島県内からの参加者のみとなりました。

## 1日目

### 講習のカリキュラム

日程	時間	内容	講師の所属組織または視察場所	実施場所
1日目 1月17日(木)	9:30~10:30	オリエンテーション	福島県林業労働力確保支援センター	ビッグバレットふくしまマルチパーパスルーム2(郡山市)
	10:30~11:00	林業と山村地域の現状について		
	11:00~12:00	主な林業樹種とその特性などの森林生態について		
	13:00~14:00	木材の育成作業と森林の管理方法について		
	14:00~15:00	森林の有する多面的機能の発揮と健全な発展について		
	15:00~16:00	作文「なぜ林業の仕事希望したのか等」		
2日目 1月18日(金)	9:00~14:00	救命措置(救急訓練法)	日本赤十字社 福島県支部	
	14:00~15:30	林業における労働災害の現状と安全衛生対策	林業労災防止協会福島県支部	
3日目 1月21日(月)	8:10~16:50	小型車両系建設機械(3t未満)資格講習	南湖建設機械講習所 郡山講習センター	南湖建設機械講習所 郡山講習センター (郡山市)
4日目 1月22日(火)	8:30~15:30			
5日目 1月23日(水)	9:00~16:00	刈払機資格講習	林業労災防止協会福島県支部	湯の岳山荘(いわき市)
6日目 1月24日(木)	8:45~17:30			
7日目 1月25日(金)	8:45~17:30	チェーンソー資格講習	林業労災防止協会福島県支部	湯の岳山荘(いわき市)
8日目 1月28日(月)	9:00~16:00			
9日目 1月29日(火)	9:00~16:00	林業作業の実地講習	ふくしま中央森林組合	左記作業現場
10日目 1月30日(水)	9:00~16:00			
11日目 1月31日(木)	9:00~16:00			
12日目 2月1日(金)	8:30~12:00	林業関係施設等の見学	福島中央木材市場(郡木協かねざわ) 藤寿産業㈱(集成材工場)	郡山市内
	13:00~14:30	講演「林業就業を志すために必要なこと」	五十嵐保雄	
	14:30~16:30	林業への就職相談・現場作業者による生活相談等 講習の総括・アンケート記入・修了者の交付	福島県林業労働力確保支援センター 菊池 優子(南ウッド福生) 福島県林業労働力確保支援センター	ビッグバレットふくしま小会議室1

開講式・オリエンテーションに引き続き、林業の基礎知識として、「林業と山村地域の現状について」等の講義を、当センターの職員が行いました。



オリエンテーション、講師紹介



講義の状況(阿久津専門員)

## 2日目

2日目は、郡山市のビッグバレットふくしまマルチパーパスルームにおいて、日本赤十字社福島県支部の講師から「救命措置(救急訓練法)」について、また林業労災防止協会福島県支部の講師から「林業における労働災害の現状と安全衛生対策」を、それぞれ学びました。



救命措置の講義



労働災害の現状と安全衛生対策の講義

### 3～4日目

3～4日目は郡山市にある南湖建設機械講習所郡山講習センターで小型車両系建設機械（3t未満）資格講習を受講しました。

### 5日目・6日～7日目

いわき市の湯の岳山荘において、5日目に刈払機の資格講習を、6日目～7日目に伐木等機械の資格講習を受講しました。



小型車両系建設機械の講習（学科）

### 8～11日目

8日目から11日目は、ふくしま中央森林組合にご協力をいただき、田村市大越町滝根町の現場等をお借りして実地研修を行いました。作業は広範囲におよび、さまざまな経験を積んで頂くことができました。



森林組合の会議室にて研修の説明を受ける



測量についての研修



現場にて測量の実践を行う



測量図作成の実践と解説



チェーンソーによる伐倒の研修



組合の講師による説明を受ける



フォワーダによる作業の見学と説明



ハーベスタによる作業の見学と説明



森林作業道作設の研修（現地踏査）

### 12日目（午前）

県内の林業関係施設等の見学として、郡山市にある福島中央木材市場及び藤寿産業(株)を訪れました。

中央木材市場では、作業工程に添って場内を見学しながら、市（いち）の様子や選別機等の各種機械装置、木材の種類による使用用途等について五輪賢一営業部長から説明を受けました。

藤寿産業(株)では、相澤貴宏氏より集成材の製造工程をご説明いただきながら、場内を見学しました。また、工場内にある実際の製品を見せていただき、集成材の構造等についての説明を受けました。



福島中央木材市場の見学



藤寿産業(株)工場の見学



集成材の構造等について説明を受ける

## 12日目（午後）

初日・2日目と同じ郡山市のビッグパレットふくしま小会議室にて、講話、相談及び12日間の講習の総括、修了証の交付等を行いました。

はじめに、五十嵐保雄氏による講話「林業就業を志すために必要なこと」を聴講したのち、平成28年度に「緑の雇用」を修了しフォレストワーカーとして活躍している(有)ウッド福生の菊池優子さんと、当支援センター所属の林業就業支援地域アドバイザーによる林業への就業・生活相談を行いました。

最後に12日間の講習の総括を行い、修了証の交付となりました。



五十嵐保雄氏による講話



アドバイザーによる就業等相談



菊池優子さんによる相談

## 研修生による作文及び修了者アンケートの感想（抜粋）

作文タイトル：「森林整備」

今、飯館村は東日本大震災の原子力発電所の放射能漏れの影響で、放射線量が高い。そのため、飯館村に住む人はまだ少ない。そして、今を生きるための最優先として、道路の整備や住居の建設をしている。でも、10年後、50年後に、農地も山村も整備されずに放置されている場所に、誰も行きたい・住みたいとは思わない。

親も、震災前には、春秋は山に入り、山菜やキノコを取ってきた。しかし、今は、住居から離れた山林は除染もされていないので放射線量も高い。山の手入れもされていない所が多くある。笹やバラが育ち、ツルが絡み合っている。そのため、山菜やキノコが育ちにくい環境になっている。木も育たなくなっている。木が育たなくなると、土砂災害がおきたりするのではないかと考えている。北海道地震や広島島の台風被害での土砂崩れが、このまま整備が遅れていくかもしれない飯館村の山の中でも起きるかもと心配に思ってしまう。

下刈りや間伐・植樹をして、森林が豊かに育つ環境を整備していけたら良いと思っています。（40代男性）

修了者アンケート：支援講習を受講して、すぐにでも林業に就職したいと思った。もう少しゆっくりと機械をさわったりする時間が欲しい。今の福島のエ業の状況を知りたかった。

作文タイトル：「私が林業を志す理由」

私が林業を志したきっかけは、山林という資源を生かすことに魅力を感じたからであるが、特に接点があったわけではない。

近年、環境・防災のみでなく、エネルギー分野や建築技術での新たな可能性を報道等で目にするたびに、その興味は強くなっていった。新しい設備や技術を使って、新たな可能性を切り拓いて行くことへの関心が最初は先行したが、少し学ぶうちに単に生産するだけではなく、山林を保全し、一本の木、森全体を長いスパンで育てて行くことへの意義深さのほうが勝っているような気さえてくるのは、自分としても意外な気がした。

林業は、様々な技能や学術にまたがって総合的な技術体系であることは頭では理解できても、そこに経験に裏打ちされた技能や判断力が無ければとても仕事にはならない世界なのかもしれない。それには、先人に学ぶ謙虚な姿勢が必要であると感じている。

とりわけ現代社会においては、何事においても速いことが賞賛される風潮が強いが、林を育てるということは、人の一生くらの長い年月がかかるし、それから派生する仕事も多く、数々の困難の連続だろうと思う。そして産業である以上、私がかこれまで携ってきた仕事と同様に、生産性という命題からも逃げることはできないだろう。しかし、私の仕事は、先人から引き継いだものであり、私も後世に受け継がれる仕事かしたいと思う。

一本の木への細やかな視点と、森全体を見通せる大きな視野を併せ持った林業人に、私はなっていきたいと思う。そして、林業という仕事の本当の楽しさを知って、後進に伝えていきたいと思う。これこそが一生の仕事と誇る時が、くるように努力したい。（30代男性）

修了者アンケート：支援講習を受講して、すぐにでも林業に就職したいと思った。川上から川下まで様々な現場を見学出来たのは大変貴重な経験でした。資格をいくつか取得できたことも林業への就業に大きなモチベーションになりました。

作文タイトル：「いかにして林業を振興するか」

振興していくうえで大事なことは、林業に就く人口を増やすことである。もしくは、直接山に入る人でなくとも、林業に携わる人も増やすことである。それでは、どうすれば林業人口が増えるのだろうか。キレイごとや理想を語っても仕方ないので、現実的に語れば、林業でも生活が充分成立する、つまり稼げなくては林業に携わる人口は増えないと考える。

では、現状の林業は稼げるのか。詳しく理解していないので、新聞やニュース、報道や番組のみの知識でしか語れないが、個人の意見としては、稼げないのではないかとというのが率直な意見である。樹林の生長を待ち、成林なるまでの努力、コストが割に合わないのではないかと、というのが根拠だ。さらには、輸入材などにより、国産材価格の下落。高齢化、山の放置による過疎化など。懸念事項は沢山あると考えられる。農業など一次産業の衰退には、魅力のなさかとても関連していると思われる。魅力があり、稼げていれば、特段振興させる策も必要ないからだ。

ならば、本当に林業は魅力がないのだろうか。普段の生活をしていれば、山や木に目を向けるのは春山や秋の紅葉くらいであるが、昨今、DIYや「ボツンと一軒家」などで林業、自然との共存を考える人は増えていると思う。スマート農業という言葉があるように、ITを駆使して、林業のコストカットやイノベーションが生まれることも今後あると思うし、起こさねばならない。スマホやパソコン、都会やオフィス街で働くことに疲れている人も多い。今やインターネットがあれば生活できる世界である。国土面積の2/3が森林の日本ならば、山や自然と暮らすことも可能である。今後、林業にイノベーションをもたらさし、新しいスマート林業は振興の一手になるのではないだろうか。しかし、林業を学び始めて一日目。何ができるのかをこれから考えてみたい。（30代男性）

修了者アンケート：支援講習を受講して、林業を選択肢の1つとして検討したいと思った。講義（座学）が被る点が多かった。林業についての基礎、インターネットや書籍だけではわからないことを学べた。とてもためになる期間だった。

# 森林作業道作設研修会を開催

効率的な素材生産システムの基盤である丈夫で簡易な森林作業道を作設するための初級研修と、更なる知識・技術の向上を図るための上級研修を開催しました。

平成30年度は、初級研修8名、上級研修6名の計14名の方が修了されました。

## 森林作業道作設研修会（初級研修）

平成30年10月23日(火)から10月26日(金)までの4日間、いわき市を会場に開催しました。

室内研修は田人ふれあい館（田人公民館）研修室で行い、現地研修は関東森林管理局磐城森林管理署にご協力いただき、いわき市田人町旅人字前山国有林で行いました。

講師は、室内研修は一般社団法人フォレスト・サーベイの大山友之氏、現地研修は有限会社豊田林業の豊田新一氏にお願いしてご指導をいただきました。

### 1日目（10月23日）午前：室内研修 大友氏による講義

テキストとして、主に「路網作設オペレーター養成事業 研修教材 森林作業道づくり2010」を使用して室内研修を行いました。

1. 森林内の道の種類
2. 森林作業道の特徴  
(目的と機能、開設・維持・管理の主体、構造上の特徴)
3. 森林作業道のつくり方  
(使用する機械、伐開、土工の基本技術、排水、洗い越し工、湧き水の処理、曲線部、簡易構造物等)
4. 安全管理と技術の向上 (安全管理、技術の向上)

### 1日目（10月23日）午後：現地研修 豊田氏による現地指導

- 作業道を作設する現場に向かい、現地踏査を行ったうえで、支障木の伐倒等を行いました。

### 2日目～4日目（10月24日～26日）現地研修

- バックホウを使用して、土砂の掘削や表土処理、伐根処理、路盤転圧、転石や岩盤への対応等の基礎土工を行いました。

### 4日目（10月26日）午後：室内研修 豊田氏による討議・アドバイス

- 田人町「おふくろの宿」研修室にて、講師による講義や参加者による討議等、これまでの研修のまとめを行いました。



室内研修の様子



現地踏査の様子



現地研修の講師 豊田新一氏



バックホウを使用している作業実習



研修により作設された作業道



おふくろの宿研修室にて討議を行う

## 森林作業道作設研修会（上級研修）

平成30年12月4日(火)から12月7日(金)までの4日間、いわき市を会場に開催しました。

室内研修は田人ふれあい館（田人公民館）研修室で行い、現地研修は初級研修に引き続き関東森林管理局磐城森林管理署にご協力いただき、いわき市田人町旅人字前山国有林で行いました。

講師は、室内研修は一般社団法人フォレスト・サーベイの渡邊良範氏、現地研修は有限会社豊田林業の豊田新一氏にお願いしてご指導をいただきました。

### 1日目（12月4日）午前：室内研修 渡邊氏による講義

「路網作設オペレーター養成事業 研修教材 森林作業道づくり2010」及び「急傾斜地やぜい弱地等での森林作業道づくり2014」より抜粋して、室内研修を行いました。

1. 急傾斜地での基本土工及び応用土工、路線選定について
  - 基本土工：段切、段盛、転圧の重要性
  - 応用土工：基本土工だけでは作設困難な箇所での工法を説明（丸太組工、洗越し工、ヘアピンカーブの設計等）
2. 現地研修を行う斜面の状況、林況、作業システム等の説明
3. 路線選定（図上設計）
  - 基本図等を利用し、林況や作業システム等を考慮した設計を検討
  - 斜面全体を対象とする広範囲な計画を検討、等

### 1日目（12月4日）午後：現地研修 豊田氏による現地指導

- 路線選定、洗越し工等の説明、バックホウを使用しての作業道作設等を行いました。

### 2日目（12月5日）終日：現地研修

- バックホウを使用しての作業道作設、丸太組工の実習等を行いました。

### 3日目（12月6日）終日：現地研修及び室内研修（雨により研修内容を変更）

- 現地研修箇所近辺の森林作業道作設の実例3ヵ所を視察、講師から説明を受けました。
- 森林作業道作設に関するDVDにより作業道に関する知識を深め、意見交換を行いました。

### 4日目（12月7日）午前：現地研修及び室内研修（雨により研修内容を変更）

- 現地研修箇所近辺の森林作業道作設の実例2ヵ所を視察、講師から説明を受けました。
- 4日間の研修全体を振り返り、参加者による意見交換を行いました。



室内研修の様子



現地踏査の様子



丸太組工の作設



バックホウを使用しての作業実習



作業道作設実例の視察



作業道作設実例の視察

# 森林・林業担い手育成事業の実施

森林・林業に意欲と技術力を有する優れた担い手の育成・確保を支援するため、各種取り組みを通じて森林・林業に関する情報を提供するための事業を実施しています。

## 高校生2年生に伐木等業務の特別教育を実施

平成30年11月14日(水)から15日(木)にかけて、福島県立会津農林高等学校において同校森林環境科2年生21名を対象に伐木等業務の特別教育の実施を支援しました。

### ◎支援センターの取り組みを紹介

講義が始まる前の時間をいただいて、支援センター発行の情報誌を活用して、事業内容を紹介しました。

### ◎(安全衛生教育)室内

林業業労災防止協会福島県支部の講師の皆さんにより、「チェーンソー作業の安全ナビ」のテキストを基に、室内の講義を行いました。

①伐木作業に関する知識 ②チェーンソーに関する知識 ③振動障害及びその予防に関する知識 ④関係法令等

### ◎(安全衛生教育)屋外

学校の敷地を実習場所として、3班に分かれて実技を行いました。最初に、チェーンソーの操作の指導を受けた後、丸太切り(落とし切り・合わせ切り・突込み切りの3種類の切り方)、立木伐倒の受け口切り、追い口切りの操作を生徒全員が行い、ソーチェーンの目立てや毎日点検についても実習を行いました。



室内研修の様子



屋外での実技研修の様子



丸太切りの実習



追い口切りの実習



ソーチェーンの目立ての実習



班別に熱心に取り組んでいました

### ◎研修を終えて

チェーンソー講習は、昨年度から新たに追加されたもので、2年生は昨年1年生の時に刈払機の講習を実施していることや、最後にテストがあることもあり、熱心に受講され実り多い実習となりました。

### ◎アンケートの結果から

下表のとおり回答と意見感想をいただき、実技を通して林業への関心が高まった様子がうかがわれました。

#### ◆伐木等の特別教育を受けてみて、特に印象に残ったものは？(複数回答可)

- 支援センターの取組紹介 2名
- 伐木作業に関する知識 6名
- チェーンソーに関する知識 8名
- 振動障害の知識 2名
- 実技：チェーンソーの操作 17名
- 実技：チェーンソーの整備 7名

#### ◆今後、森林・林業関係で仕事をしたいと思ったか

- はい 13名
- いいえ 8名

#### ◆今後、森林・林業関係でやってほしいことは？(複数回答可)

- 現場での作業体験 12名
- 林業現場の見学 9名
- 製材工場・原木市場の見学 8名
- 地元の林業者の講話 5名
- 有名林業地の見学 7名
- その他 1名

#### ◆意見・感想等

- 実際に現場に行って体験したいと思った。
- 笑いも交えた素晴らしい説明で、聞いてもおもしろかった。
- チェーンソーについてよく学び、切り方やかけ声も知ることができた。
- 初めてチェーンソーを使ってみたが、難しかったけれど楽しかった。

## 森や木に関心のある女性に向けたイベントを開催

平成30年11月17日(土)、須賀川市において、「木のスプーンを作ろう～木のスプーンづくりワークショップ～」と題したイベントを開催しました。

森林・林業担い手育成対策事業の一つとして、須賀川市にあるレンタルスペース「ラフraf須賀川店」にて、森林や林業に興味関心のある女性に向けたイベント「木のスプーンを作ろう～木のスプーンづくりワークショップ～」を開催しました。

今回は、須賀川市内にある木工作品の工房「かわらまち木工舎」にてカトラリー等を製作されている中山由紀子さんを講師に迎えて、彫刻刀や紙やすりを使った「木のスプーン作りワークショップ」を行いました。

はじめに、講師の中山さんから作り方と作業の流れについて説明を受け、さっそく彫刻刀で彫る作業からスタート。今回の素材として使用したのは「さくら」の木です。参加された方は、はじめのうちは彫刻刀の扱いや木の固さに戸惑いながら彫っている様子でしたが、徐々に慣れてくると手際よく掘り進め、みるみるスプーンらしい形になっていきました。



講師の中山さんによる説明



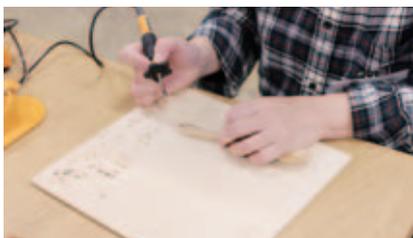
ワークショップの様子



中山さんに教わりながら作業を進めました

続いて、紙やすりで滑らかにする工程に入ります。粗さの違う5枚の紙やすりを使って、スプーンの先端から柄まで丁寧にやすりがけを行います。

やすりがけが終わったら、焼きペンで柄の部分に名前など好みの文字やマークを入れて、最後に、蜜蝋とえごま油を合わせたオイルでつや出し作業を行いました。オイルを含ませた布を使ってスプーン全体に塗り込み、袋に入れて、1日ほどなじませたら完成です。



焼きペンで名前やワンポイント等を描きます



完成したスプーン、皆さん可愛く出来ました！



作ったスプーンを手にしての集合写真

初めての方や、リピーターの方も含めて県内各地から20名ほどが集まり、ラフrafさんの明るく開放的な雰囲気と、中山さんの柔らかく気さくな人柄に助けられ、和やかで楽しいイベントとなりました。自分の手で作ったスプーンはとても愛おしく、使うのがもったいないほどです。

ぜひとも、日々の暮らしの中でたくさん使っていただき、木の良さや温かさを実感していただけたら幸いです。そして、これからも生活の中に積極的に木製品を取り入れていただき、森や木に思いを馳せるひと時を過ごしていただけたらと願います。

## トピックス

### 〈共同改善計画に伴う委託募集について〉

「林業労働力の確保の促進に関する法律」等により、事業主の知名度不足を補い、募集人数等を多くすることによる求職者へのアピール度を高めるため、事業主と支援センターが共同で改善計画の認定を受けた場合、事業主からの委託を受けて募集を行うことができます。

本県では、共同計画を立てている磐城林業協同組合の中の10事業体が募集を行うこととして、支援センターは厚生労働大臣に届け出て、平成31年1月1日から6月30日までの期間で、21名の募集を行います。  
(詳しくは、本協会のホームページで検索)

# 就労者のキャリア形成に向けての取り組み

林業就業者の定着を促進しキャリア形成に必要な知識等を習得するための研修会として、「森林（もり）づくり研修会」を開催しました。参加者は48名となりました。

## 森林（もり）づくり研修会の開催

平成30年12月19日(水)13時30分より、郡山市のビッグパレットふくしまプレゼンテーションルームにおいて、県内の林業事業者及び林業関係者に向けて「森林（もり）づくり研修会」を開催しました。

講師として、農林水産省林野庁森林整備部計画課 森林管理集積班 課長補佐の三間知也氏を迎えて、『森林経営管理法について』と題してご講演いただきました。



研修会の様子



講師 三間知也氏

研修会では、平成31年4月1日から施行される「森林経営管理法」及び「森林経営管理制度（新たな森林管理システム）」を活用した林業の成長産業化と森林の適正な管理について、講義資料をもとに詳しくご説明いただきました。併せて「森林環境税（仮称）」及び「森林環境譲与税（仮称）」による森林整備等についてもご説明いただきました。

講義終了後には、質疑応答の時間を多めに設け、法律の施行に伴い実際の運用がどのように行われるのか、具体的な手続き方法、また運用に向けた要望等について活発な質疑応答が行われました。

### ◎主な質問内容

- この制度における「森林所有者」とはどのような解釈になるか。
- 森林環境税は期限を切った運用か？「森林環境譲与税」の割り振りは国→市町村か、国→県→市町村か？1市町村あたりどのくらい使えるか？使い切れなかった場合は返すのか、基金等として積み立てて森林整備等に活用できるのか？
- 協議会の構成員に、森林組合や林業事業者の職員が離職して出向する場合、その賃金等については特別交付税もしくは譲与税の対象になるのか？
- 要望として、今回の制度設計では市町村の役割が大きいと思われるが、市町村の理解を得るための方策をお願いしたい。例えば、市町村の職員を主人公にしたDVD等を製作し、各市町村等に配る等。
- 林業経営に「適す」「適さない」について、市町村が決定する基準とはどのようなものか。また、経営計画に入っている、入っていないは関係ないのか？



質疑応答の様子①



質疑応答の様子②



質疑応答の様子③

参加者へのアンケート調査の回答では「参考になった」との感想が殆どを占め、「資料が解りやすかった」「制度の本音の部分がわかり、運用について色々な方法があることが理解できた」「まだまだ検討すべき点が多いことがわかった」「国の考え方や支援等について聞いて参考になった」等様々な意見感想が寄せられ、充実した研修会となりました。

# トピックス

平成30年11月18日(日)、19日(月)の2日間、全国育樹祭イベントとして「2018森林・林業・環境機械展示実演会」が開催されました。当センター職員1名も会場まで視察に行きましたので、簡単なレポートを掲載します。

2018森林・林業・環境機械展示実演会は、国内外の林業機械メーカーが開発・改良した最新の林業機械等を中心に展示・実演を行うイベントで、今年度は初めて東京での開催となり、その交通の便の良さから北は北海道、南は九州・沖縄まで全国各地から多数の来場者が集まり、好天にも恵まれ、2日間で過去最高の計2万8千人が来場したとのこと。

会場は、東京都あきる野市にある旧秋川高等学校のグラウンドで、見事なメタセコイアの並木を背景に、より多機能且つ安全で、林業作業の負担軽減を目指して開発・改良された林業機械が並んでいました。



子供試乗コーナー  
グラップルの運転席にお子様を乗せて、記念写真が撮れるブース。このような展示が多く見られた。



フォワーダ搭載型、木材破砕機投入用グラップルローダー  
運転席に子供を乗せてスタッフが撮影するサービスも行われていた



ローラーストロークハーベスタ  
ローラ式とストローク式両方を併せ持つハーベスタヘッドとのこと



改良型ハーベスタヘッド  
クローラが5連になり、曲がり材への追従が強化された



新型トラッククレーン  
各メーカーともクレーン操作席にガードを付けたモデルが多く見られた



ストロークハーベスタの実演  
曲がり材でも高い精度での測尺が可能で、各メーカーともストローク式の展示が多く見られた



自動植林機の実演  
ショベルで掘り苗木を植え、GPSで位置を記録しデータベース化も可能



ロングリーチグラップルの展示  
リーチは最長で12mまで伸ばすことが可能(0.45クラス)



新開発のスキッド  
全木集材時にグラップルで持ち上げ、5～6本挟んで移動できる



遠隔操作装置を取付けたフォワーダ標準機に簡易装着が可能、リモコン操作で操縦範囲は1km、有人から遠隔操作への切替は1分で終了



伐倒補助装置「MORINO KIKORI」  
倒す方向に装置を設置し、レーザーの誘導に合わせて受け口を作ることができる



苗木自動植栽機  
立ち姿勢のまま植栽作業が可能、腰や腕への作業負担が軽減され、作業効率アップに期待できる

# 「森林(もり)の仕事ガイダンス2019」に参加

林業への就業に関心のある方に向けて、森林の仕事を紹介する「森林(もり)の仕事ガイダンス2019」が、全国森林組合連合会の主催により、東京・大阪の2会場で開催されました。

毎年開催されているイベントで、今年度も各都道府県の就業相談担当者が集結し、林業への就業希望者に相談を行いました。

福島県も両会場に参加し、本県ブースに来られた方々に説明や相談等を行いました。

## 大阪会場 (平成31年1月19日、梅田クリスタルホール)

平成31年1月19日(土)午前11時から行われ、32都道府県の相談ブースが設けられました。

主催者発表によると、来場者は520名とのことです。

本県ブースには40代～60代までの4名の方が訪れ、福島県での森林・林業の仕事に興味関心を持ち、就業を視野に入れて求職活動をしている方に、林業の仕事の内容や職場の環境・待遇等についての相談に応じました。



本県ブースの相談状況

## 東京会場 (平成31年1月26日、東京国際フォーラム)

平成31年1月26日(土)午前11時から行われ、38都道府県の相談ブースが設けられました。

主催者発表によると、来場者は1,057名とのことです。

本県には21名の相談があり、大阪会場と同様に本県の森林林業や林業の仕事に関する概況等について情報を提供し、本県への就労を勧誘しました。

ガイダンスでは、オリエンテーションコーナー、全国森林組合連合会の相談ブース、緑の研修生交流ブースやハローワーク相談ブース、チェーンソーや防護衣、防護靴などの展示、各県の大学校や情報誌の配布コーナーなどが設けられ、沢山の方々が訪れていました。

また、会場に設置されたステージ上では、女優の葛城奈海さんの進行による「緑の研修生」トークショーも行われ、全国各地で活躍中の研修生との軽快なトークで会場を盛り上げていました。

「緑の雇用」研修生コーナーでは、本県で活躍している「緑の雇用」3年目研修生の鈴木美也子さん(㈱武田林産)が、就業希望者への相談に応じていました。



本県ブースの相談状況①



本県ブースの相談状況②



オリエンテーションコーナー



緑の研修生交流ブースの状況



緑の研修生トークショー(進行:葛城奈海さん)

# 各種イベントへの林業就業相談ブースの出展

30年度に行われた農林業や移住に関する各種イベントにおいて、林業への就業について相談を受け付けたり、森林林業の仕事を紹介するための「林業就業相談ブース」を出展しました。

当日は、支援センターに所属する林業就業支援アドバイザー等により、林業への就業だけでなく、福島県の状況や森林林業の特色等についての説明を行いました。

併せて、林業就業支援講習等の紹介や講習参加の呼びかけ等も行いました。

## 先端林業技術体験フェア（9月24日、川内村「いわなの郷」）

平成30年9月24日(月)、川内村の「いわなの郷」にて森林整備から木材利用までの森林資源の循環に、最先端林業技術を活用する林業イノベーションを実際に見て触れて体験できるフェアが開催されました。

林業就業相談ブースには、3名の方が相談に訪れ、1名の方は将来林業の仕事に就きたいとのことで、資料をもとに「緑の雇用」事業や県認定林業事業体等について説明を行いました。

そのほか、林業に興味のある方々に資料を提供しました。



林業就業相談ブースの出展

## 福島県林業祭（10月20日～21日、郡山市「林業研究センター」）

福島県林業祭は、平成30年10月20日(土)～21日(日)の2日間、郡山市の「福島県林業研究センター」を会場に行われました。

今年度の林業祭は好天にも恵まれ、物販や木工のブースのほか、チェーンソー選手権やきのこの品評会なども行われ、会場は朝から多くの来場者で賑わっていました。

研修本館の入口に設けた林業就業相談ブースには、相談コーナーのほか、支援講習の案内等の各種パンフレットを準備し、多くの方に資料を提供しました。



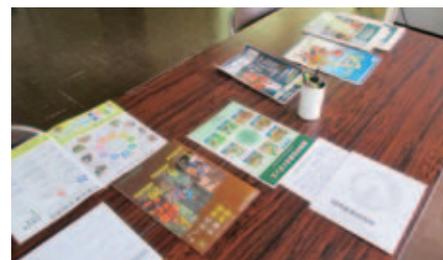
朝から多くの来場者が訪れました



チェーンソー選手権の様子



多くの参加者が腕を競いました



相談ブースには各種案内等を準備

## 福島くらし&しごとフェア（11月4日、東京都「東京交通会館 ダイヤモンドホール」）

平成30年11月4日(土)、東京都の東京交通会館12階ダイヤモンドホールにて行われたイベントに、「しごと発見ブース」の一つとして、林業に関する就業相談ブースを出展しました。

主催者によると、昨年度よりも多くの参加者で賑わったとのこと。



様々なブースが出展されました



林業に関する相談ブースとして出展

# 「改善措置実施状況報告書」って何ですか？

「改善措置実施状況報告書」について、その根拠、意味、必要性などについて、Q&Aの形で改めて説明します。

**Q 1 年に一度、公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会に改善措置実施状況報告書を提出していますが、なぜ提出するのか、あまりよく分かりません。**

**A 1** 認定事業体の代表者は、1年に1度、「改善措置実施状況報告書」を福島県林業労働力確保支援センター（公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会）に提出することとされています。

これは、福島県（農林水産部）が「福島県林業事業体改善計画認定要領」というものを定め、その中で決めています。

**Q 2 「改善措置実施状況報告書」は、なぜ提出しなければならないのですか。**

**A 2** 「林業労働力の確保の促進に関する法律」では、事業主の皆様は、「雇用管理の改善」と「事業の合理化」を一体的に実施していく「改善措置」について計画（5年間の計画）を作成し、県知事の認定を受けると、いわゆる「認定事業体」になることができます。

認定事業体の皆様は、この県知事の認定（改善措置に関する計画の認定）を受けていますので、県としてもその計画の進捗状況を1年に1度、確認したいと考えているのです。

林業労働力確保支援センターである公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会は、県のお手伝いをしているのです。

**Q 3 「改善措置実施状況報告書」は、毎年、いつごろ提出すればいいのですか。**

**A 3** 会社には事業年度（会計年度）がありますが、毎年、この事業年度が終了してから3か月以内（決算日から3か月以内）に報告することとされています。

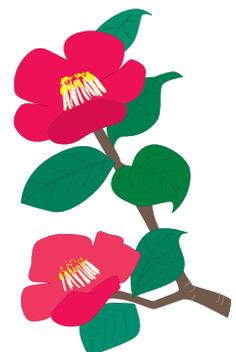
**Q 4 「改善措置実施状況報告書」には決められた様式がありますか。**

**A 4** 次ページに改善措置実施状況報告書の1ページ目を掲載しました。

改善措置実施状況報告書は約5ページにわたりますが、最も重要なのは、1ページに記載する「実施した改善措置の内容」です。認定を受けた改善措置に関する計画の内容を踏まえて記載してください。

なお、「改善措置実施状況報告書」の様式は、当協会ウェブサイトのトップページにある「申請書関連資料」のバナーをクリックしていただき、移動したページからダウンロードができます。

（ワード形式）



様式20

## 改善措置実施状況報告書

平成 年 月 日付けで認定を受けた「労働環境の改善、募集方法の改善その他の雇用管理の改善及び森林施業の機械化その他の事業の合理化を一体的に図るために必要な措置についての計画」に基づく改善措置の実施状況（年次）を報告します。

年 月 日

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会  
会 長 齋藤 卓夫 様

所 在 地  
名 称  
代表者名

印

（代表者氏名は、記名押印又は自筆による署名のいずれかにより記入すること）

### 1 実施した改善措置の内容

改善措置の実施項目		実施した改善措置の内容	改善措置の実施上の問題点及び今後の対応方針
雇用管理の改善	雇用の安定化		
	労働条件の改善		
	募集・採用の改善		
	教育訓練の充実		
	高年齢労働者の活躍の促進		
	その他の雇用管理の改善		
	( )		
事業の合理化	事業量の安定的確保		
	生産性の向上		
	林業労働者のキャリア形成支援		
	その他の事業の合理化		
	( )		
	( )		

（記載要領）

- 1 改善計画において実施することとしていた改善措置の項目について具体的に記載すること。
- 2 改善措置の実施上の問題点には、改善計画において記載した改善措置の内容が計画どおりに取り組めなかった理由等を記載すること。
- 3 認定計画の実施期間の最終年次は、「改善措置実施結果報告」と併せて報告すること。

# 福島県認定林業事業体一覧表(流域別)

平成31年2月6日現在

番号	事業体の名称	所在地	TEL
<b>阿武隈川流域</b>			
1	1 福島県北森林組合	福島市岡部字前田137-1	024-534-9015
2	2 吾妻造林(有)	福島市町庭坂字湯町17	024-591-1322
3	3 (有)武田林産	二本松市小関105	0243-24-2819
4	4 安田林業(株)	安達郡大玉村大山字宮/前21	0243-68-2220
5	5 浜崎製材(株)	本宮市高木字猫田46-2	0243-33-4400
6	6 (有)齋一林業	福島市小倉寺字敷ヶ森9-11	024-523-4305
7	7 郡山市森林組合	郡山市逢瀬町多田野字本郷228	024-957-2850
8	8 (株)アメリカ屋	郡山市田村町徳定字下河原58	024-944-4990
9	9 (有)ネイチャーリバイブ	須賀川市滝字前田40	0248-67-2856
10	10 田村森林組合	田村市常葉町西向字堂ヶ入62-7	0247-67-1101
11	11 (株)クライス	田村市常葉町西向字中97-1	0247-61-5187
12	12 (有)大須賀林業	岩瀬郡天栄村大字牧之内字惣五郎4	0248-29-8613
13	13 (有)星林業	岩瀬郡天栄村大字田良尾字鹿野3	0248-84-2307
14	14 アブクマエコロジー(有)	石川郡玉川村大字岩法寺字下竹/内36-6	0247-57-4111
15	15 (有)松崎産業	石川郡平田村大字永田字堂作112-3	0247-55-2076
16	16 (有)水野林興	石川郡古殿町大字久田字越代139	0247-53-3860
17	17 (有)鈴木商事	石川郡古殿町大字松川字小名沢1	0247-53-3174
18	18 (株)サンライフ	石川郡古殿町大字松川字陣場7-1	0247-53-4727
19	19 ふくしま中央森林組合	田村郡小野町大字小野新町字知宗59-2	0247-71-0755
20	20 嵐ミツマグリーンプロジェクト	白河市大信下新城字北山61-1	0248-54-5115
21	21 (株)出田創業	白河市大信下小屋字宮沢144	0248-21-6560
22	22 白栄林業企業組合	白河市字会津町93-8	0248-29-8991
23	23 西白河地方森林組合	白河市字旭町一丁目242	0248-24-1037
<b>奥久慈流域</b>			
24	1 (有)東白林業	東白川郡棚倉町大字棚倉字中居野179-1	0247-33-6939
25	2 東白川郡森林組合	東白川郡棚倉町大字棚倉字南町100-2	0247-33-2161
26	3 (有)陣野林業	東白川郡棚倉町大字北山本字居伝金288	0247-33-5153
27	4 (有)スズキ木材	東白川郡棚倉町大字戸中字川前217	0247-35-2324
28	5 (有)田部林業	(戸塚事務所) 東白川郡矢祭町大字戸塚字太子沢21-3	0247-57-5675
29	6 協和木材(株)	東白川郡塙町大字西河内字鶴巻田10	0247-43-0272
30	7 (有)いしぐろ	東白川郡塙町大字塙字宮田町16-8	0247-43-2940
31	8 (株)武農林商会	東白川郡塙町上渋井字胡桃下53	0247-43-4283
32	9 真名畑林業(有)	東白川郡塙町大字植田字森戸68-1	0247-43-3331
33	10 (有)ウッド福生	東白川郡塙町大字片貝字兔田44	0247-42-2409
34	11 (株)池田林業	東白川郡塙町大字那倉字矢塚1	0247-42-2427
35	12 (有)本郷林業	東白川郡鮫川村大字赤坂東野字戸草298-1	0247-49-2420
36	13 (有)諸橋林業	東白川郡鮫川村大字赤坂東野字戸草23-2	0247-49-2422
<b>会津流域</b>			
37	1 会津若松地方森林組合	会津若松市城前2-3	0242-26-2355
38	2 (有)佐藤林業	会津若松市湊町大字原字高坂153	0242-96-1370
39	3 会津北部森林組合	喜多方市字舞台田3128-8	0241-22-1136
40	4 (有)斉藤造林	喜多方市熊倉町雄国字八木沢道中乙562	0241-25-7021

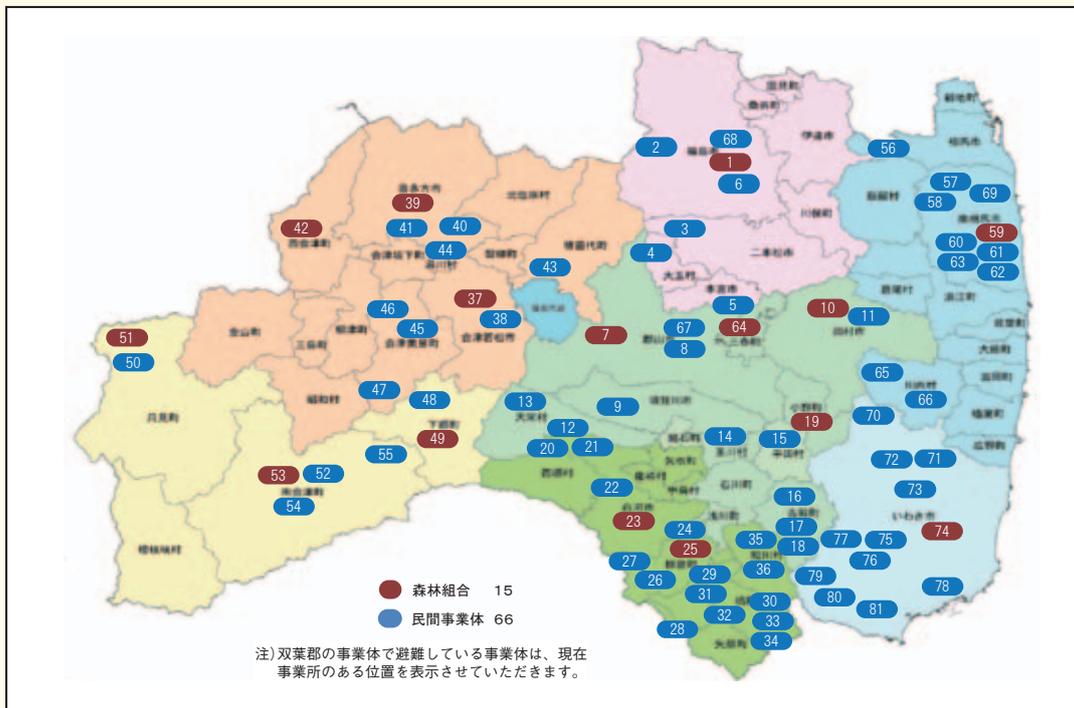
番号	事業体の名称	所在地	TEL
41	5 (株)ノーリン	喜多方市慶徳町山科字宮前4780-7	0241-24-2300
42	6 西会津町森林組合	耶麻郡西会津町尾野本字樋/口原乙1460	0241-45-2779
43	7 (有)六和林業	耶麻郡猪苗代町大字磐里字島田1955	0242-62-3072
44	8 (株)桜林業	河沼郡湯川村佐野目宮前丙79	0241-27-5310
45	9 栗城林業(株)	大沼郡会津美里町字東川原3250	0242-54-7100
46	10 会津西部林業(有)	大沼郡会津美里町吉田字村中甲173	0242-53-2408
47	11 (有)川島林業	大沼郡会津美里町東尾岐字村中乙10948	0242-53-2701
48	12 (有)共和林業	南会津郡下郷町大字大内字沼山488	0241-68-2915
49	13 下郷町森林組合	南会津郡下郷町大字豊成字下6277-3	0241-67-3310
50	14 (株)ヤマイン	南会津郡只見町大字小川字下村79	0241-84-2573
51	15 只見町森林組合	南会津郡只見町大字只見字田中1283-3	0241-82-3120
52	16 佐藤造林	南会津郡南会津町静川字風下甲45	0241-62-2766
53	17 南会津森林組合	南会津郡南会津町針生字下宮238	0241-64-5071
54	18 (株)館若工務所	南会津郡南会津町松戸原223	0241-78-2224
55	19 山星林業(株)	南会津郡南会津町田島字田部原159-5	0241-62-3139
<b>磐城流域</b>			
56	1 松山林業(有)	相馬市東玉野字町裏139-1	0244-34-2108
57	2 特定非営利活動法人自然環境創造	南相馬市鹿島区上栴笮字瀬/沢20-1	0244-26-3917
58	3 (有)国見グリーンパワーズ	南相馬市原町区大原字阿弥陀堂28	0244-23-4923
59	4 相馬地方森林組合	南相馬市原町区錦町1丁目34	0244-22-0831
60	5 (有)鈴木林業	南相馬市原町区南町3-53	0244-23-2366
61	6 千葉製材所	南相馬市原町区牛来字穴田42-1	0244-22-8111
62	7 中川木材	南相馬市原町区中太田字天狗田95-25	0244-23-4830
63	8 (株)ガイワーク東北支店	南相馬市原町区馬場字切付69	0244-32-1027
64	9 双葉地方森林組合	(暫定事務所) 田村郡三春町大字芹ヶ沢字深作130-2	0247-73-8070
65	10 (株)緑樹	双葉郡川内村下河内字松川原46-4	0240-25-8806
66	11 (有)志賀林業	双葉郡川内村大字下川内字道ノ下30	0240-25-8484
67	12 吉田林業(株)	双葉郡葛尾村大字落合字大放100	024-983-7286
68	13 (有)ハヤマ森業	相馬郡飯館村八木沢字上八木沢110	0244-42-0102
69	14 (同)山英林業	南相馬市鹿島区小池字新山70	0244-46-3699
70	15 (有)丸信林業	いわき市川前町下桶売字荻91	0246-48-4878
71	16 國生興産(有)	いわき市小川町柴原字桐ヶ岡48	0246-83-0731
72	17 (有)中崎林業	いわき市小川町塩田字尾ノ内127	0246-83-1864
73	18 (有)松本林業	いわき市小川町関場字前田78	0246-83-0548
74	19 いわき市森林組合	いわき市平字正内町107-3	0246-23-1599
75	20 (株)長山	いわき市遠野町深山字新田62-1	0246-89-3999
76	21 遠野興産(株)	いわき市遠野町根岸字石田44-3	0246-89-2172
77	22 (有)平子商店	いわき市遠野町入遠野字白鳥132	0246-89-2066
78	23 常磐林業(株)	いわき市泉町下川字田宿187	0246-56-1222
79	24 (有)井出林業	いわき市田人町貝泊字井出102	0246-62-4590
80	25 (有)豊田林業	いわき市田人町旅人字前山1	0246-68-3021
81	26 (有)近野林業	いわき市勿来町大高応時1	0246-65-2974

注) 番号は、流域ごとに、市役所・町村役場一覧の順に表示しています。

**【認定林業事業体とは】**

林業労働者を雇用して、造林、保育、伐採その他の森林施業を行い、改善の計画を履行する意欲と能力を有する事業者が、「福島県林業事業体改善計画認定要領」に基づき「雇用管理の改善と事業の合理化についての計画(改善計画)」（5年間）を作成・申請し、県知事の認定を受けると認定事業体になります。

# 福島県認定林業事業体位置図(流域別)



## 認定事業体名一覧

(H31. 2. 6 現在)

No.	名称	No.	名称	No.	名称	No.	名称	No.	名称
阿武隈川流域		奥久慈流域		会津流域		磐城流域(相双)		磐城流域(いわき)	
1	福島県北森林組合	24	(有)東白林業	37	会津若松地方森林組合	56	松山林業(有)	70	(有)丸信林業
2	吾妻造林(有)	25	東白川郡森林組合	38	(有)佐藤林業	57	特定非営利活動法人 自然環境応援団	71	國生興産(有)
3	(有)武田林産	26	(有)陣野林業	39	会津北部森林組合	58	(有)国見グリーンパワーズ	72	(有)中崎林業
4	安田林業(株)	27	(有)スズキ木材	40	(有)斎藤造林	59	相馬地方森林組合	73	(有)松本林業
5	浜崎製材(株)	28	(有)田部林業	41	(株)ノーリン	60	(有)鈴木林業	74	いわき市森林組合
6	(有)齋一林業	29	協和木材(株)	42	西会津町森林組合	61	千葉製材所	75	(株)長山
7	郡山市森林組合	30	(有)いしぐろ	43	(有)六和林業	62	(有)中川木材	76	遠野興産(株)
8	(株)アメリカ屋	31	(株)武農林商会	44	(株)桜林業	63	(株)ガイアワーク東北支店	77	(有)平子商店
9	(有)ネイチャーリバイブ	32	真名畑林業(有)	45	栗城林業(株)	64	双葉地方森林組合	78	常盤林業(株)
10	田村森林組合	33	(有)ウッド福生	46	会津西部林業(有)	65	(株)緑樹	79	(有)井出林業
11	(株)クライス	34	(株)池田林業	47	(有)川島林業	66	(有)志賀林業	80	(有)豊田林業
12	(有)大須賀林業	35	(有)本郷林業	48	(有)共和林業	67	吉田林業(株)	81	(有)近野林業
13	(有)星林業	36	(有)諸橋林業	49	下郷町森林組合	68	(有)八ヤマ森業		
14	アブクマエコロジー(有)			50	(株)ヤマイシ	69	(有)山英林業		
15	(有)松崎産業			51	只見町森林組合				
16	(有)水野林興			52	佐藤造林				
17	(有)鈴木商事			53	南会津森林組合				
18	(株)サンライフ			54	(株)館岩工務所				
19	ふくしま中央森林組合			55	山星林業(株)				
20	株式会社グリーンプロジェクト								
21	(株)出田創業								
22	白栄林業企業組合								
23	西白河地方森林組合								

発行：公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会  
 福島県林業労働力確保支援センター  
 〒960-8043  
 福島県福島市中町5番18号(林業会館内)  
 TEL 024-521-3270  
 FAX 024-521-3246  
 メール fukusien@violin.ocn.ne.jp  
 ウェブサイト <http://www.fukurin-net.jp/?cat=3>



平成31年2月発行